

# Newsletter

2024.8.6

立教大学全学共通  
カリキュラム運営センター

## 全学共通カリキュラム運営センター 新メンバー紹介

全カリニュースレター No. 58では、新たに全カリ運営センター執行部ならびに  
言語教育研究室主任、メンバーとなられた先生方をご紹介します。

全学共通カリキュラム運営センター副部長

森本 正和 (理学部教授)

全学共通カリキュラム運営センターの副部長に就任しました森本正和と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は2007年から立教大学に勤務していますが、これまでの私と全カリの関係を振り返ってみますと、初めのころは理学部化学科の先輩教員たちに全カリ科目を担当していただいており、私が担当することはありませんでした。私が初めて全学共通科目を担当したのは2016年度であり、RIKKYO Learning Styleが始まった年でした。私は理学部の教員なので、全学共通科目においても自然科学に関連する総合系科目を担当しました。



授業を通して何を学ぶかは学生自身のバックグラウンドや目的などによって様々でしょうが、科目担当教員としては、自然へ目を向けて、自然を身近に感じ、自分事として捉えることが重要であると考え、そのことを学生に意識してもらえるように心がけていました。自然は、地球に住む私たちを温かく包み込み、神秘的で美しい表情を見せてくれますが、時として厳しい試練を与えます。古代の人々は、他の動物の存在や天候の影響による危険と常に隣り合わせで、狩猟をしながら暮らしていたと言われています。そのころと比べて、文明が発展した現代では、人々がそのような危険に遭遇する機会は減っているでしょう。しかしながら、現代においても事故や災害、病気などにより命が危険にさらされます。日常の中で私たちが豊かな生活を送る上では、当たり前かもしれませんが、まずは自分自身の身の安全のことを考えなければなりません。そのためには、身のまわりで起こる自然現象の原理や、物質の物理的・化学的性質、身体への影響などに関する知識をもつことも有効です。自然に関する知識と経験があれば、それに基づき、想像力を働かせることで、今後起こり得る危険に備えることができ、危険を回避できる可能性が高くなります。背の高い柵の上に突っ張り棒を設置すると、地震のときに柵が転倒しにくくなります。市販の洗剤には「混ぜるな危険」という表示があるものもあります。なぜ混ぜてはいけないのか。私は山口県の田舎の生まれで、中学・高校の夏休みは毎日のように川で泳いでいましたが、川の恐ろしさも実感しました。河川での遊泳には危険が潜んでいます。自分が生きるためにはどのように行動すればよいかという観点で身近な自然に目を向けることで、自然を自分事として捉えることができ、自然に対する興味と理解が深まり、そこから視野を広げていくこともできるのではないかと思います。このようなことは、自然科学だけでなく様々な物事にも当てはまるのかもしれませんが、自然と社会の中での自分の現在地点と周辺の動向を把握し、自分の進むべき道を考えることで、自分の人生を豊かにすることができ、また隣人のために働くこともできると思います。恵まれていることに、私たちは、長い歴史の中で先達たちによって築かれてきた知に触れることができ、またそれらの情報へ素早くアクセスすることも可能になっています。私たちは、自然に対して畏敬の念を抱き、文明の利器による恩恵と害悪の両方を受けとめ、後悔と希望を駆動力として学び続ける必要があるのだらうと思います。

このように、私はこれまで全カリの中で自分の担当科目のことだけに注力してきましたが、このたび副部長に就任し、運営側から全カリを見ることになりました。このような職務は私にとって新鮮である一方、責任も大きいことから身の引き締まる思いです。全学共通科目のカリキュラムは、これまでの教職員の努力と協力、学生からのフィードバックによりとても魅力的なものになっており、学生たちが自分の進むべき道を探すための広大な地図を与えているように思います。立教大学での学生たちの学びがより実りあるものになるよう、努めて参ります。

言語系科目構想・運営チーム 英語教育研究室主任  
シュロスブリー 美樹（外国語教育研究センター准教授）

2024年度の英語教育研究室主任を担当しておりますシュロスブリー美樹と申します。研究分野は英語スピーキングと音声学です。立教大学では2012年度から4年間、ランゲージセンターの英語教育講師として教鞭をとりました。その後2018年度に外国語教育研究センター設置準備室に着任し、今に至っています。

私が最初に英語教育に興味を持ったきっかけは、中学生の時に、あるテレビ番組を見た事です。インド象の飼育をしている人とアフリカ象の飼育をしている人が、通訳もなしに象の飼育法について話し合っていました。別の大陸に暮らす人どうしが、通訳もなしに英語を使って仕事の詳細な話をしている事に感銘を受け、便利そうだから私も絶対に英語を話せるようになりたいと思ったものです。この時の思いが、私が英語教師になった原点にあると思います。今年度は英語教育研究室主任を担当する事になり、大学の英語教育運営そのものに大きく携わる事になりました。主任の仕事に励んでまいりたいと思っております。



英語教育研究室の特徴は、その規模の大きさとグローバルな事だと思えます。およそ1600コマの全学共通科目の英語科目を約160人の英語教員が教えています。本学で英語を学んでいる学生数は、必修科目履修者で4800名以上、自由科目履修者で2000名以上に及びます。また英語教員の多くは英語母語話者ですので、FDや会議、また委員会とのメールのやり取り等は英語で行なわれます。私は主任として、このグローバルで大きな組織をどうまとめていくか、また今後の主任担当者が多岐にわたる業務範囲に圧倒されずに仕事をできるようにするにはどうしておいたら良いか、という事を特に意識しながら仕事をしています。

英語教育研究室では英語科目の運営のみならず、新しいカリキュラムの開発も行っています。近年開発に力を注いできたのは英語自由科目です。今年度からCLIL（内容言語統合型学習）アプローチを取り入れた授業を本格的に展開しています。英語コミュニケーション力を高め、専門的・教養的な内容を英語で学ぶコースです。より多くの学生が英語自由科目を履修してくれるよう願っています。今後も魅力的なコースを提供できるよう、英語教育研究室では一丸となって取り組んでいく所存です。

言語系科目構想・運営チーム ドイツ語教育研究室主任  
牛山 さおり（外国語教育研究センター准教授）

2023年4月から外国語教育研究センターに着任し、同年8月よりドイツ語教育研究室主任に就任いたしました。研究分野は第二言語習得、ドイツ語の心態詞などで、教育面では日本語を母語とする学習者のための音声教育に関心を持っています。

小学生の頃にウィーンを訪れ感銘を受けた私は、高校生からドイツ語学習を始め、その後フランス語、ラテン語、ロシア語を履修しました。フランス語のレシピを見ながら友人とお菓子を作った思い出、教会で聴いていたラテン語の歌詞の意味を教科書に見つけた時の驚き、ロシア語を履修してからサンクトペテルブルクを訪れた時の感動は忘れられません。学生には外国語学習を通して視野が広がり、新たな気づきを得ることができること、そして様々な言語や文化に対する寛容性が身につくことを伝えていきたいです。



私は昨年の夏から主任になったことで、時間割作成、シラバス執筆などの業務を経験し、日々の授業が様々な調整を経て運営されていることを知ることができました。常に快くご対応いただける教務事務センター、ならびに全学共通教育事務室の皆様のご尽力には、深く感謝しております。同時に円滑な研究室運営のためには教育講師の協力が不可欠で、現場で授業を担当される科目担当者の先生方との意思疎通がとても重要であることを実感しています。新カリキュラムでは使用する教材とクラス編成が変わり、各クラスに合わせた進度案を研究室で作成しました。アウトプット中心のクラスでは「学生さんとのやりとりが以前よりも増えて、楽しく授業しています」と兼任の先生方から伺い、大変嬉しく思っております。

これまでにドイツ語教育研究室で培われてきた伝統と、新しいカリキュラムとの相乗効果により、時代に合う形で質の良いドイツ語教育を展開できればと考えております。本学のドイツ語教育のさらなる充実と発展に寄与できるよう努めて参ります。

## 言語系科目構想・運営チーム 朝鮮語教育研究室主任 金 恩愛（外国語教育研究センター教授）

2024年度より朝鮮語教育研究室主任に就任いたしました金恩愛と申します。専門は日韓対照言語学・韓国語教育・教材開発です。「教育・研究・社会貢献の好循環」をモットーに、主に教育現場で疑問に思った点をテーマに、研究を進め、その研究結果を教育現場や社会に還元する形で教育も研究も教材開発も楽しく頑張っております。私は、大学で教えてきた経歴はかなり長いのですが、立教大学で教えることになったのは2023年度からなのでまだまだ慣れないことが多く、毎日が勉強！という感じの日々を送っております。分からないことだらけで解決すべき課題は山積みでめげそうになることも多いのですが、親切な周りの方々に助けていただきながら、新米主任、奮闘中です。立教大学に赴任して一番驚いたことは、こんなにたくさんの学生を抱えている大きい大学なのに、学生ひとり一人への対応が「とても繊細でかつ丁寧」というところでした。全体の学生を力強くしっかりと立教の外国語教育が目指す方向に向かわせながらも、そこからこぼれ落ちてしまった学習者への配慮や思いやりを一瞬たりとも忘れない教職員の熱い思いは、たとえ今すぐにはその学習者を救済できなくてもそういう学生の学びを支えることができるルールや、仕組みづくりなど、「学生の学びを支えたい」という前向きな姿勢につながっているような気がします。私は学生の時は、国立大学で勉強し、教えるようになってからはいくつかの私立大学と公立大学などを経験しているので、大学の教育については、それなりに経験値があるほうだと思いますが、立教大学の外国語教育に関する姿勢や態度、方向性については、目を見張るものがあります。2024年度から始まった言語Bの新カリキュラムは、長期的な視点から効果的な外国語教育を行うために、全員が希望する言語を履修できるようにし、受講人数をアウトプット型は20名、インプット型は40名と少人数授業を実現しています。これは、なかなか他大学では真似できない思い切った改革です。この改革の舞台裏には、きっと数えきれないほどのバトル？があっただろうことは想像に難くありませんが、そのバトルがこのような類を見ない「立教の言語B改革」として実を結んだのはきっと「学生の学び」をしっかり支えたいという強い思いが教員・職員・大学で共有されていたからではないかと思います。朝鮮語は、1年生を対象とする必修科目の場合、2024年度は、年間で池袋は124コマ、新座は66コマを開講しており、自由科目を含めた年間230コマを専任教員2名、教育講師2名、兼任講師31名で担当しています。朝鮮語を希望する学習者の増加により、今後授業数を大幅に増やしていかなければならない現実に直面しています。これからますます主任の仕事は大変になるだろうなと思いつつも、言語Bの新カリキュラムの一員として学生の学びを支えていけることに「感動と誇り」を感じております。



## 総合系科目構想・運営チームメンバー（自然科学系） 小森 靖（理学部教授）

このたび、総合系科目構想・運営チームメンバーであった笥先生が研究休暇を取られたことにより、その代わりとして1年間、チームメンバーとして参加させていただくことになりました。2015年、2016年度に続き、これが2度目の参加となります。どうぞよろしくお願いいたします。私は2010年度に本学の理学部数学科に着任しました。着任以来、主に数学科の科目を担当し、数学科生たちに対して授業を行ってきました。その間には全学共通カリキュラム（全カリ）の授業もいくつか担当しましたが、最初は「数学科以外の学生に教える数学」という漠然とした感覚で取り組んでいました。しかし、チームメンバーに任命されたことで、その認識が大きく変わりました。就任時は、ちょうど全学共通カリキュラムから全学共通科目へのカリキュラム改革期であり、非常に慌ただしい時期でした。その時は、チームリーダーや他のメンバー、事務の方々のサポートを受け、なんとか役割を果たすことができました。自分は十分に役立てなかつたと感じていますが、全カリの運営活動を通じて、全カリの授業を担当しているだけでは気づけない多くのことを学びました。例えば、多様で興味深い科目が数多く展開されていること。学生時代には理学にしか興味がなかった私ですが、現在の立場から見れば、どの科目も魅力的です。学生たちは視野を広く持ち、様々な科目を積極的に履修してほしいと思います。さらに、私にとっての大きな学びは、全カリが学部や学科を超えた大学全体に対する教育であることを、俯瞰して見ることができたことです。「数学科以外の誰か」ではなく、「立教大学全体」という視点を強く意識するようになりました。これは、立教大学の学生にとって有益で魅力的な授業とは何かを考えるきっかけとなりました。今回チームメンバーとして参加すること、学生たちがより豊かな学びを得られるよう支援する機会だと捉えています。全カリのさらなる発展に貢献できればと考えております。



2024年度 全学共通カリキュラム運営センター 名簿

2024年8月現在

| 全カリ委員会        |           |             |                 | 言語教育研究室 |    |           |    | 総合系科目構想・運営チーム |        |     |           |
|---------------|-----------|-------------|-----------------|---------|----|-----------|----|---------------|--------|-----|-----------|
| 役職名           | 氏名        | 所属          |                 | 研究室名    |    | 氏名        | 所属 | 役職名           | 氏名     | 所属  | 担当        |
| 部長            | 浅妻 章如     | 法 国         |                 | 英語      | 主任 | シュロスブリー美樹 | 外C | リーダー          | 後藤 雅知  | 文 史 |           |
| 副部長           | 森本 正和     | 理 化         |                 |         |    | 三島 雅一     | 外C | メンバー          | 秋葉 昌樹  | 文 教 | 人文学系      |
| チームリーダー       | 松本 句子     | 外C          | 言語チーム           |         |    | 三浦 愛香     | 外C |               | 小森 靖   | 理 数 | 自然科学系     |
|               | 後藤 雅知     | 文 史         | 総合チーム           |         |    | マッキロイ タラ  | 外C |               | 貞包 英之  | 社 現 | 社会科学系     |
| 委 員           | 金子 明雄     | 文           | 文学部長            |         |    | 上野 育子     | 外C |               | 大橋 健一  | 観 交 | 社会科学系     |
|               | 荒川 章義     | 済           | 経済学部長           |         |    | 町 沙恵子     | 外C |               | 奇二 正彦  | ス ス | スポーツ人間科学系 |
|               | 花井 亮      | 理           | 理学部長            | ドイツ語    | 主任 | 牛山 さおり    | 外C | サポーター         |        |     |           |
|               | 砂川 浩慶     | 社           | 社会学部長           |         |    | 坂本 真一     | 外C |               | 氏名     | 所属  | グループ*2    |
|               | 原田 久      | 法           | 法学部長            | フランス語   | 主任 | 関 未玲      | 外C | 学部選出          | 古井 義昭  | 文 文 | 人文学系      |
|               | 松村 公明     | 観           | 観光学部長           |         |    | 河野 美奈子    | 外C |               | 一ノ瀬 大輔 | 済 政 | 社会科学系     |
|               | 木下 武徳     | 福           | コミュニティ福祉学部長     | スペイン語   | 主任 | 泉水 浩隆     | 外C |               | 安田 雅哉  | 理 数 | 自然科学系     |
|               | 西原 文乃     | 営           | 経営学部長           |         |    | 松本 句子     | 外C |               | 太田 麻希子 | 社 現 | 社会科学系     |
|               | 大石 幸二     | 現           | 現代心理学部長         | 中国語     | 主任 | 森平 崇文     | 外C |               | 孫 斉庸   | 法 政 | 社会科学系     |
|               | 丸山 千歌     | 異           | 異文化コミュニケーション学部長 |         |    | 南雲 大悟     | 外C |               | 有馬 賢治  | 営 営 | 社会科学系     |
|               | 沼澤 秀雄     | ス           | スポーツウエルネス学部長    | 朝鮮語     | 主任 | 金 恩愛      | 外C |               | 石井 正子  | 異 異 | 人文学系      |
|               | 佐々木 正徳    | 外C          | 外国語教育センター長      |         |    | 佐々木 正徳    | 外C |               | 西川 亮   | 観 観 | 社会科学系     |
|               | 松下 信之     | 理           | 教務部長            | ロシア語    | 主任 | 松本 句子     | 外C |               | 掛川 直之  | コ 福 | 社会科学系     |
|               |           |             |                 | 諸言語     | 主任 | 松本 句子     | 外C |               | 篠崎 誠   | 現 映 | 人文学系      |
|               |           |             |                 |         |    |           |    |               | 石渡 貴之  | ス ス | スポーツ人間科学系 |
| 言語系科目構想・運営チーム |           |             |                 |         |    |           |    | 総長任命          | 佐々木 正徳 | 外C  | 社会科学系     |
| 役職名           | 氏名        | 所属          | 担当              |         |    |           |    |               |        |     |           |
| リーダー          | 松本 句子     | 外国語教育研究センター |                 |         |    |           |    |               |        |     |           |
| メンバー          | シュロスブリー美樹 |             | 英語              |         |    |           |    |               |        |     |           |
|               | 牛山 さおり    |             | ドイツ語            |         |    |           |    |               |        |     |           |
|               | 関 未玲      |             | フランス語           |         |    |           |    |               |        |     |           |
|               | 泉水 浩隆     |             | スペイン語           |         |    |           |    |               |        |     |           |
|               | 森平 崇文     |             | 中国語             |         |    |           |    |               |        |     |           |
|               | 金 恩愛      |             | 朝鮮語             |         |    |           |    |               |        |     |           |
|               | 松本 句子*1   |             | ロシア語            |         |    |           |    |               |        |     |           |
|               | 松本 句子*1   |             | 諸言語             |         |    |           |    |               |        |     |           |

\*1 言語チームリーダーとの兼務

\*2 サポートグループ / 人文科学系サポートグループ  
社会科学系サポートグループ  
自然科学系サポートグループ  
スポーツ人間科学系サポートグループ

全カリニュースレター No.58  
発行 2024.8.6  
発行人 浅妻 章如  
編集人 森本 正和、松本 句子  
発行所 立教大学 全学共通カリキュラム運営センター